

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	家具デザイン実習 1
科目基礎情報					
開設学科	プロダクトデザイン科	コース名		開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	60時間
単位数	2単位	授業形態	実習		
教科書/教材					
担当教員情報					
担当教員	長沼みか		実務経験の有無・職種	有・インテリアデザイナー	
学習目的					
家具デザインの知識に関わる構造形式からはじまり、家具のデザイン史を学ぶ。 家具デザインに関する基本的なスキルを習得し、人間工学的検証・構造検証・アイディア展開・スケッチスキル・試作製作に関する技術的思考方を習得する。 1/1スケールスツールの課題では多くの縮小スケールモデルでのトライ&エラーを経験し、実体験に基づくデザインの大切さを学んでいく。					
到達目標					
簡単な構造理解から人間の体重を支える構造まで発展させ、単純に見た目の美しさ・ユニークさだけの家具デザインではなく、本質的な設計感覚を習得する事を目標とする。本授業は2年次後期以降の立体デザイン（主に家具デザイン）を行う上での技術知識を習得することを目標にする。					
教育方法等					
授業概要		プロダクトデザインのなかで家具デザインの意味や位置づけ、考え方などを学ぶ。見かけのカタチだけにとらわれず、構造や組み立て方などの家具デザインの本質を考える授業を展開する。各種要求項目、および設計条件を割り出し、それに則ったイメージづくりからアイディア展開、モデル化、の流れを経験し、スケッチワークやモデリングワークにおける造形表現手法を学習する。			
注意点		工具・機具を使用した模型製作時怪我をしないよう注意して進める。 スケジュールに則り、プレゼンテーションに遅れの出ないように学生自身がマネジメントして進める。 制作内容により作業着、作業用具、各種材料が必要になる。 やむを得ず欠席した場合、すぐに担当教員が補助員に相談し授業の流れに遅れないよう注意すること。			
評価方法	種別	割合	備 考		
	課題技術	40%	課題の表現技術を総合的に評価する		
	課題内容	40%	課題のコンセプト・アイディア・デザインを総合的に評価する		
	プレゼンテーション	10%	課題の発表技術、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	ガイダンス		ガイダンスにて今後の大まかなスケジュールを理解する。構造形式・デザイン史を学ぶ。		
2回	【講義】素材・デザイナーズチェア		名作椅子の種類を知りスケールモデル作成のテーマとなるデザイナーズチェアを選ぶことが出来る		
3回	模型をつくる道具、素材の扱い方		模型製作のための道具知識、素材について理解する事が出来る		
4回	【デザイナー椅子縮小モデル】1		【作図 検証】 テーマとして選択した椅子を画像等から採寸し作図できる		
5回	【デザイナー椅子縮小モデル】2		【模型製作】作図した図面から適した造形素材を選び、基本骨格となる造形を作る事が出来る		
6回	【デザイナー椅子縮小モデル】3		【模型製作】骨格が出来た模型を作り込み、塗装する状態まで作り込むことが出来る		
7回	【デザイナー椅子縮小モデル】4		完成した模型と図面を併せてプレゼンテーションできる		
8回	【オリジナル家具】1		スチレンボードの椅子のデザインが出来る 50案以上デザイン案を考える事が出来る		
9回	【オリジナル家具】2		複数案を選び出し、1/5スケールで簡単な図面を制作する事が出来る		
10回	【オリジナル家具】3		【アイデア決定、試作モデル】1/5スケールモデルを複数製作し1案選ぶ事が出来る		
11回	【オリジナル家具】4		【図面化 1/1スケール（模造紙）】選んだデザインをフルスケールで作図する事が出来る		
12回	【オリジナル家具】5		【図面化 1/1スケール（模造紙）】選んだデザインをフルスケールで作図完成する事が出来る		
13回	【オリジナル家具】6		【1/1スケールモデル製作】作図を参考にスチレンボードに転写しパーツ切り出し出来る		
14回	【オリジナル家具】7		【1/1スケールモデル製作】作図を参考にスチレンボードに転写しパーツ切り出し出来る		
15回	【オリジナル家具】8		作品をプレゼンテーション。データに基づいた具体的・効果的なプレゼンテーションが出来るようになる		